

NEWS LETTER

一般社団法人 日本看護研究学会 近畿・北陸地方会

- 目次
1. 世話人代表ごあいさつ
 2. 2022年度の主な事業
 3. 第36回近畿・北陸地方会学術集会のお知らせ
 4. 看護研究セミナーの報告

1. 世話人代表のごあいさつ

謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年は、戦争という大きな歴史の分岐点となる出来事が起こりました。ウクライナだけに限らず、世界中の紛争に終結が見え、光がみえることをお祈りしています。また、何年にもわたるコロナ禍で気づいたことは、オンラインからオフサイトへの場所の変化でした。最初は、パソコンに向かって1人で話すことに躊躇していたのに、今は、空間を移動せずに各地とつないで会話できる便利さを享受しています。感染対策で、買い物もキャッシュレスが進み、紙幣や硬貨を目にする機会も、めっきり少なくなりました。リアリティがない貨幣価値概念の登場をいったん受け入れてしまうと、過去にもう戻れないように思います。

さらに、ぞうきんを絞る動作は、絶滅危惧動作（藪本晶子による「絶滅危惧動作図鑑」 祥伝社、2021）のひとつだそうです。お店にも教室にもあるアルコールシートは、ケースから引き出して、使い終われば捨てられます。「絞る」生活経験が少なくなりました。基礎看護技術のひとつの「タオルを絞る」動作には、どのような未来があるのでしょうか。タイパに価値がおかれるこの時代、かけた時間に対する効果を、時間効率でつい評価してしまいます。よって、逆にその「一手間」が貴重です。人員削減で、労働の過重が介護・看護分野でも、のしかかり、その一手間ができなくなっている現実があります。しかし、どんな状況でも、受け手の主体性の存在を、看護は絶対に忘れたくないものです。

さて、近畿・北陸地方会での活動においても、その主体性の所在はどこにあるのかを忘れず、近畿・北陸地方の会員の利益を考えて、たくさんおられる世話人とともに地方会を運営していきたいと思います。

どうぞ、引き続き、本地方会活動に、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

2023 年 1 月 若村智子

2. 2022 年度の主な事業

1. 第 34 回 看護研究継続セミナー

日時：2022 年 10 月 29 日（土）13:30～17:00 オンライン（ライブ配信のみ）

テーマ：「眼球運動測定を活用した看護師の観察眼の解明と看護学生への医療安全教育」

2. 第 36 回 近畿・北陸地方会学術集会

日時：2023 年 3 月 5 日（日）

会場：京都キャンパスプラザ

テーマ：さあ、研究始動！

セミナーの報告は 3 ページをご参照ください。

事前参加申込が開始されています。詳細は 2 ページをご覧ください！！

3. 第 36 回近畿・北陸地方会学術集会のお知らせ

【日時】 2023 年 3 月 5 日 (日)

【場所】 キャンパスプラザ京都

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR 各線「京都駅」下車。徒歩 5 分。

【テーマ】 さあ、研究始動！

【開催趣旨】

第 33 回から 35 回まで開催中止、誌上開催、オンデマンド開催と、コロナ禍での学会運営に、さまざまな決断を求められました。36 回は、小規模になりますが、交流しながら学べるプログラムを企画します。

看護現象におやと思う気持ちと、それを明らかにする研究方法が、看護研究に求められます。でも、わからないこともたくさんあります。疑問に思っていることを少しでも解決できる場に、PC やタブレットをインターネットと接続するために、Pocket WiFi などのモバイルルータをお持ちの場合は、ご持参されることを推奨します。

【参加資格】 会員・非会員を問いません

【参加費】 無料 (非会員の方は、入会のお手伝いもします。当日ご相談ください。)

【定員】

京都府、京都市の新型コロナウイルス感染拡大予防に係る取組に沿い、全体で最大 210 名程度。
(希望の会場に入れない場合は、ご容赦ください)

【プログラム】

最新情報は、下記サイトをご参照ください。

<https://onl.sc/V4SIEdS>

【申込み】 要・事前申込み

参加を希望される方は、以下のフォームに必要事項をご入力の上、送信してください。

<https://forms.gle/eHoDjdTwjwZTsch6>

【問い合わせ先】

jsnr2022kyoto1@gmail.com

なお、口頭やポスター発表等はいりません。
発表を予定されていた方は、大変申し訳ありませんが、第 49 回日本看護研究学会 (完全オンライン) への申し込みをご検討ください。

日本看護研究学会
第36回近畿・北陸地方会学術集会

さあ、研究始動！
研究成果を論文にするための知識の共有の場にしましょう。

会期
2023年3月5日 (日) 10:30-17:00 (10:00開場)
場所
キャンパスプラザ京都 <https://onl.sc/bpCeD9M>

参加費：無料 (非会員可)
定員：210名

プログラム
講演：90名 (第35回近畿北陸地方会看護研究セミナー合同企画)
①10:30～p値×95%信頼区間—臨床で意味ある数字とは—
藤井 誠 大阪大学大学院看護学研究科看護学専攻
②13:30—病院建築家としてのナインテュール再考—病棟の起源と変遷—
中村 孝之 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

Equator—network ガイドラインを知ろう：90名
・RCT (CONSORT) ・観察研究 (STROBE)
・システマティックレビュー (PRISMA) ・質的研究 (COREQ)

論文を読もう ジャーナルクラブ：30名
①10:30～11:15 ②11:15～12:00 ③13:30～14:15 ④14:15～15:00 ⑤15:30～16:15

■ 参加方法：下記のURLもしくは、QRコードから2023年2月24日(金)までに
お申し込みください。 <https://forms.gle/eHoDjdTwjwZTsch6>
■ 留意事項：PCやタブレットをインターネットと接続するために、Pocket
WiFiなどのモバイルルータをご持参されることを推奨します。
■ ホームページ：<https://onl.sc/V4SIEdS>
■ 問い合わせ先：jsnr2022kyoto1@gmail.com

4. 看護研究セミナーの報告

第 34 回看護研究セミナーでは、滋賀県立大学の米田照美先生を講師にお迎えし、『眼球運動測定を活用した看護師の観察眼の解明と看護学生への医療安全教育』についてお話いただきました。米田先生に講演内容の要旨をご執筆頂きましたので、紹介をいたします。

日本看護研究学会近畿・北陸地方会第 34 回看護研究セミナー

『眼球運動測定を活用した看護師の観察眼の解明と看護学生への医療安全教育』

滋賀県立大学人間看護学部

米田照美 氏



人々が病や障害から健康を回復するため、看護師が安全な医療・看護を提供することは最低限の責務です。私は、看護師の危険認知のための観察眼の解明と看護教育における医療安全教育に取り組んでいます。今回のセミナーでは、今までの研究活動の一端をご紹介させて頂きました。セミナーは前半・後半の 2 部構成で行いました。

前半の部は、視線計測機器や研究方法について紹介しました。人の対象への注意の向け方には、認知や記憶の影響を受けています。人はあふれんばかりの多量の視覚情報をどのように瞬時に取舍選択し認知しているのか、眼球運動にはどのような種類があるのか、アイトラッキングの原理やメカニズムなどをお話しました。視線計測機器は国内外で複数のメーカーによって開発されています。多少の違いはありますが大まかにはスクリーンベースで行う固視化研究やサッカード研究、ヒトの自然な行動・作業の中で視線計測するウェアラブル型ものに分かれています。視線計測を用いた研究では、まず、眼球運動の何を測定したいのか、視線から人の行動の何を理解したいかを明確にし、測定機器や解析ソフトを選択することが大切です。解析方法は注視時間や回数、視線軌跡、視線の移動速度、ヒートマップなど多種多様あります。他の生体情報と同期させて関連性を調べることも可能です。セミナーでは、いくつかの計測方法や視野画像データ等を提示し、解析法要や評価方法について説明いたしましたので、視線計測研究のイメージや概要は掴んでいただけたかと思います。

後半の部は、私が基礎看護教育において過去に行った医療安全教育の演習内容と学習効果についてお話ししました。看護学生の 4~7 割が実習でヒヤリハットを経験しているという報告もあります。新人看護師が離職する理由の一つが自分の看護実践能力不足から起こる医療事故に関する不安です。したがって、看護基礎教育からの医療安全教育は重要です。現在ではシミュレーション学習、VR、動画教育、KYT、リフレクションなど多様な学習方法が取り入れられています。

今回は、医療事故がおこりやすい状況下でスタントマンに模擬患者役を演じてもらう車いす移乗の体験型の演習やその学習効果について、一部動画を示しながら紹介しました。スタントマンの患者役の方が学生の演じる患者役よりもリアリティがあり、自分たちの技術や知識不足を実感しやすく、医療事故を身近な問題として受け止める傾向にあります。また、学生たちは上手くできなかった体験を振り返ることで医療事故の要因をより理解します。

医療事故を未然に防ぐための優れた看護師の観察眼については暗黙知とされている部分が多いです。視線計測はその埋もれた実践知を解明する一つの手段です。今後、研究によって看護師の優れた観察眼の解明が進めば、看護実践が可視化され、標準化が可能となり、医療安全、看護の質の向上へとつながるでしょう。今回のセミナーにご参加いただいた受講者の皆さんが多少なりとも視線計測の研究に関心・興味を持っていただき、今後の研究活動につなげて頂ければ幸いです。

◆ リレーブログのご案内

リレーブログは 2013 年より運用が始まり、看護研究に関する様々な内容を掲載してまいりました。リレーブログをもっと身近に感じて頂けるように、近畿・北陸地方会では、近畿・北陸地区の会員の皆様の話題提供をお願いしています。研究テーマや看護研究に関連する研修会の案内などを発信することで、会員の情報共有や交流の場となればと考えております。

日本看護研究学会 近畿・北陸地方会 広報委員会

◆ 本地方会に関するお問い合わせ・ご連絡、リレーブログに関するご連絡等は下記までお願いします

一般社団法人 日本看護研究学会 近畿・北陸地方会

世話人代表 若村 智子

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

TEL: 075-751-3974 E-mail: wakamura.tomoko.5v@kyoto-u.ac.jp

ニュースレターでは、本地方会の活動に関する情報をお届けいたします。

詳細な情報をお知りになりたい場合は、学会ホームページも合わせてご活用ください。

<https://www.jsnr.or.jp/district/kinki-hokuriku/>